

担い手の経営のライフステージに応じた支援

 タイトル （株）JRとまとランドいわきファームへの融資対応
JA名 農林中央金庫福島支店（福島県）

1 動機 （経緯）	とまとランドグループは東日本大震災・原発事故で甚大な被害を受けた福島県いわき市で農業を通じた地域活性化や福島県農業の復興を目指しています。
2 概要	グループ中心企業の（有）とまとランドいわきは、JR東日本（株）との共同出資により、平成27年9月に（株）JRとまとランドいわきファームを設立のうえ、トマト栽培施設（太陽光利用型植物工場）を建設し、トマトの周年栽培に取り組んでいます。 農林中央金庫福島支店は（株）JRとまとランドいわきファームに対し、植物工場の設備資金として復興ローン400百万円の融資対応を実施しました。
3 成果 （効果）	事業に必要な設備資金の融資対応やJR東日本（株）と連携した事業運営のサポート等を通じ、県内農業の復興、地域活性化に貢献しました。 なお、ワンダーファームのオープン後も、当グループの取組みは頻繁に新聞・テレビ局等の各種メディアで特集され、福島県の新たな観光施設として注目されています。
4 今後の予定 （課題）	今後もJR東日本（株）とも連携しながら、金融サービスおよび各種情報提供等を通じ、とまとランドグループの取組みをサポートしていく予定です。 平成28年5月には、いわき市四倉のトマト栽培施設、加工施設、レストラン、直売所が一体となった食と農をテーマにした体験型複合施設（ワンダーファーム）がグランドオープンし、地域農業者・JR東日本等の企業と連携のうえ、地域活性化に貢献していきます。 また、県内農林水産物の販路拡大に向け、平成28年6月に農業法人協会等と連携のうえ、全国からバイヤーを集めて、ワンダーファームの施設を主会場とする産地見学・商談交流会を開催予定です。



トマト栽培施設